

クラウドセキュリティ自動化 WG 設立趣意書

2022年11月1日

諸角 昌宏

SaaS やクラウドネイティブの利用が広がって、大部分のセキュリティ責任がプロバイダ側になってきています。しかしながら、利用者責任によるセキュリティ対応、また、利用者としてクラウドのセキュリティを評価することが求められるため、クラウド利用者の手間は減っていないと考えられます。「クラウドセキュリティ自動化 WG」では、「自動化」を理想のゴールとしますが、まずは、クラウドのセキュリティの設定、監視、管理、および、クラウドのセキュリティ評価をできるだけ簡単化する方法について調査、検討、情報公開を行っていきます。

1. 目標

SaaS 及びクラウドネイティブの環境において、以下の観点で様々なベンダーから提供されているソリューションを調査、研究し、クラウドのセキュリティの自動化に関する情報発信を行っていきます。

① セキュリティ設定、管理の簡単化

CSPM, SSPM, CNAPP, etc. プロバイダが提供する設定・管理ソリューション

② クラウドサービスのセキュリティ評価の簡単化

- VRM, TPRM, CASB, STAR Registry, etc.
- 利用者、プロバイダのディスカッションによるチェックリストのベースライン構築に向けての活動、可能な限り独自のチェックシートの廃止していく活動。CAIQ でカバーされない部分についてできるだけ統一化するような活動、etc.

③ 開発環境の簡単化

CI/CD パイプライン

④ その他、クラウド利用者の責任範囲としてのデータセキュリティ、クライアントデバイスセキュリティなど

2. WG 活動方針

上記目標を達成するため、以下を行っていく。

- ① ソリューションの調査、検討
- ② WG内、ソリューション勉強会の実施
- ③ 自動化の観点で、ソリューションとそのユースケースをまとめる
- ④ 情報発信として、ブログの活用、公開資料の作成を行う

3. 今後のステップ

- ① 運営委員会での承認 (11/1)
- ② WGメンバー募集 (会員向け ML)
- ③ キックオフの実施
- ④ 活動開始

4. 人員、メンバー

- ① WGリーダー
 - リーダー： 諸角昌宏
- ② WGコアメンバー
 - 笹原英司氏
 - 根塚昭憲氏
 - 井上幸氏
 - 松島伸恵氏

以上